

からすやませんげん

「烏山宣言」

— 子供たちに安心して残せる国づくりへ —

天地自然に恵まれたこの国の豊かな大地を再生し、
健やかないのちを守ることを

東日本大震災後にめざすべき 科学文明の本懐と念じて、
誓いを立て志を共に、相携えて、これからも務めてまいります。

2012年11月3日文化の日「日本再生!シンポジウム」参加者一同
世田谷区烏山区民会館

【ご参考まで】

11月3日は、「自由と平和を愛する文化国家」を謳った、
「日本国憲法」公布日にちなんで、国民の祝日「文化の日」と定められた。
元は明治天皇誕生日、天皇誕生日の「天長節」に由来。

〈昭和天皇による日本国憲法公布の詔〉（後半）

「朕は、国民と共に、全力をあげ、相携へて、
この憲法を正しく運用し、節度と責任を重んじ、自由と平和とを愛する
文化国家を建設するやうに務めたいと思ふ。」

— 昭和天皇による日本国憲法公布の勅語・1946年(昭和21年)11月3日 —

●

「烏山宣言」は、11月3日を後に「文化の日」と定めるもとになった
終戦翌年同日の「詔」にこめられた「意思」を雛形として
東日本大震災翌年の11月3日、「90文字の同じ言葉づかい」に整えたもの。
「烏山宣言」(からすやませんげん)の名称は、会場の世田谷区烏山区民会館に因みます。

●

「子どもたちに安心して残せる国づくりへ」の
「節度と責任を重んじる、ひとりひとり」を結ぶ道具(雛形)として
広く活用いただけるよう、主催団体や、賜りましたご賛同人・ご賛同団体等の
固有名詞を記載してありません。

シンポジウムに先駆けて、福岡「烏山宣言」の推進計画(案)が地元から寄せられました。
それぞれの場所で、発起人・世話人・立会人等ご主宰により、
よき未来づくりの道具としてご活用下さい。